資料１

第２回いじめ問題対策連絡協議会

令和２年度
１学期柏市いじめ状況調査の結果といじめ防止の取組について

学校教育部　児童生徒課

We Love Kashiwa

令和２年度１学期いじめの状況調査

調査対象：

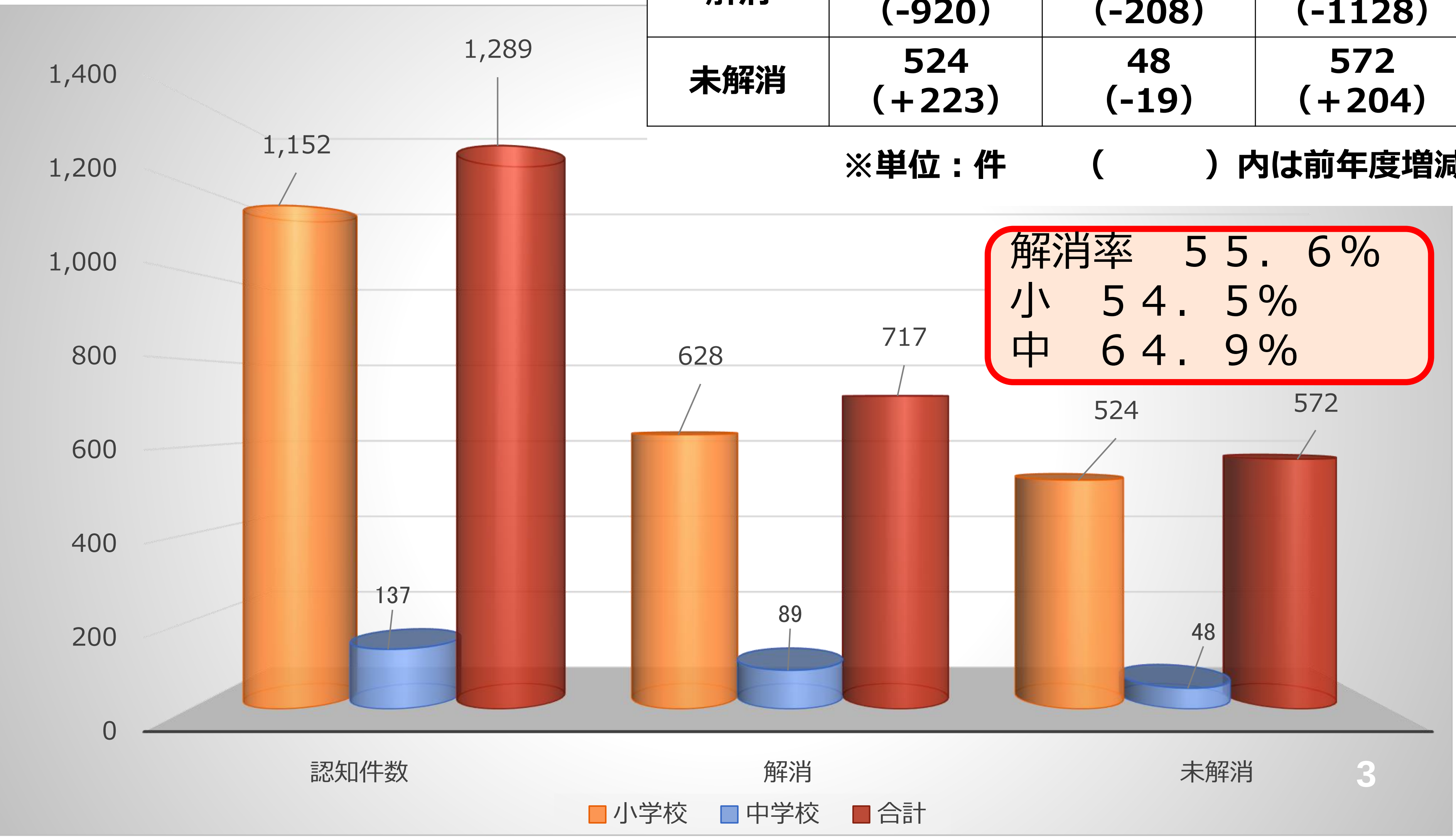
柏市内小学校　４２校：２１，９６９人
柏市内中学校　２１校：　９，９６８人
（児童生徒数:令和２年５月１日現在）

調査時期：令和２年７月下旬

令和２年度１学期
いじめの調査結果

	小学校	中学校	合計
認知件数	1152 (-697)	137 (-227)	1289 (-924)
解消	628 (-920)	89 (-208)	717 (-1128)
未解消	524 (+223)	48 (-19)	572 (+204)

※単位：件　（　）内は前年度増減



解消率　５５．６％
小　５４．５％
中　６４．９％

いじめの解消について

ア．いじめに係る行為の解消

　被害者に対する心理的又は物理的な影響（インターネットを通じて行われるものを含む）が止んでいる状態が３か月継続していること。

イ．被害児童生徒が心身の苦痛を受けていないこと

　いじめが解消しているかどうかを判断する時点において，被害児童生徒がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないと認められること。

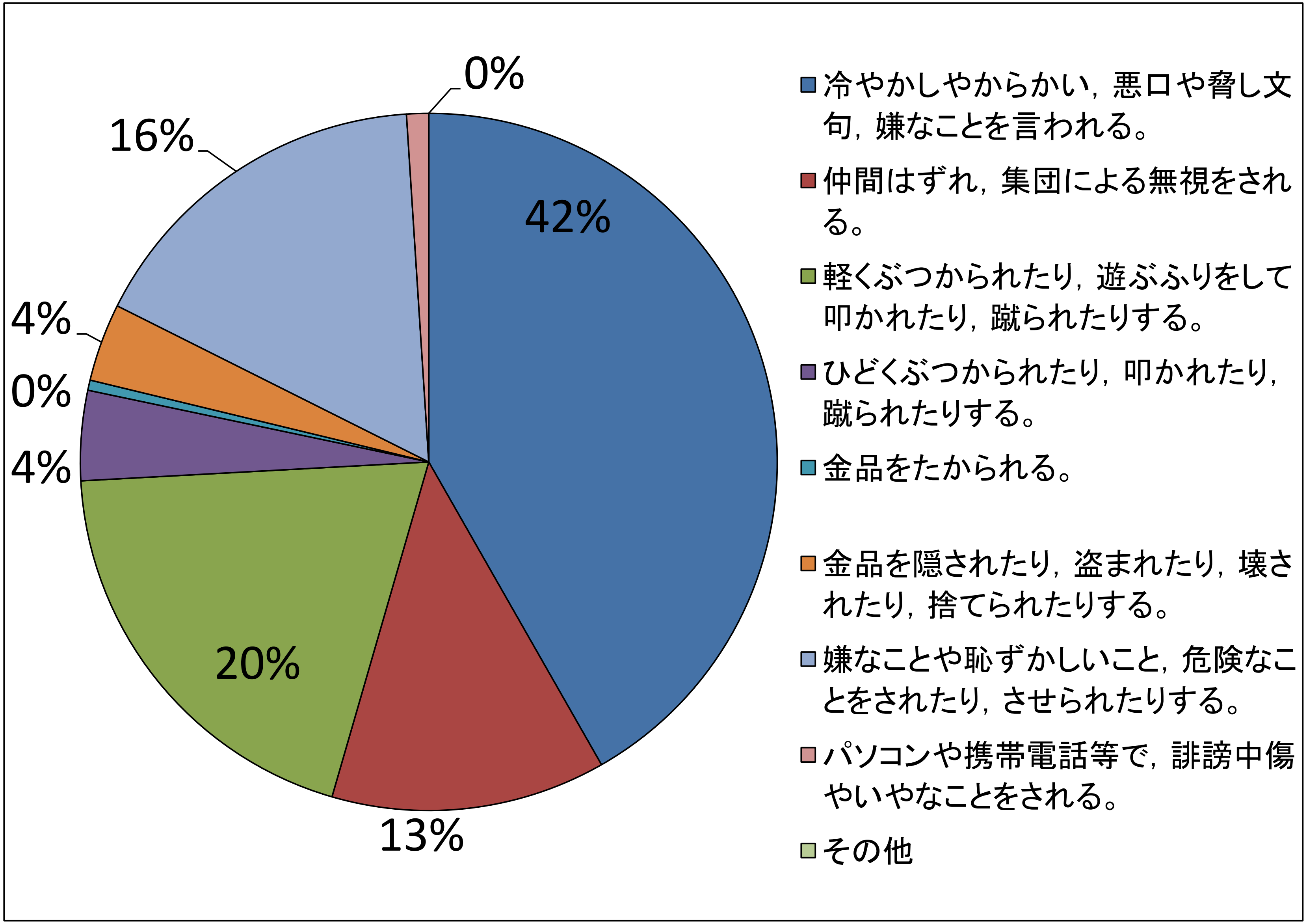
柏市いじめ防止基本方針より

いじめ認知件数減　⇨　休校の影響

未解消事案の増加　⇨　安易に解消×

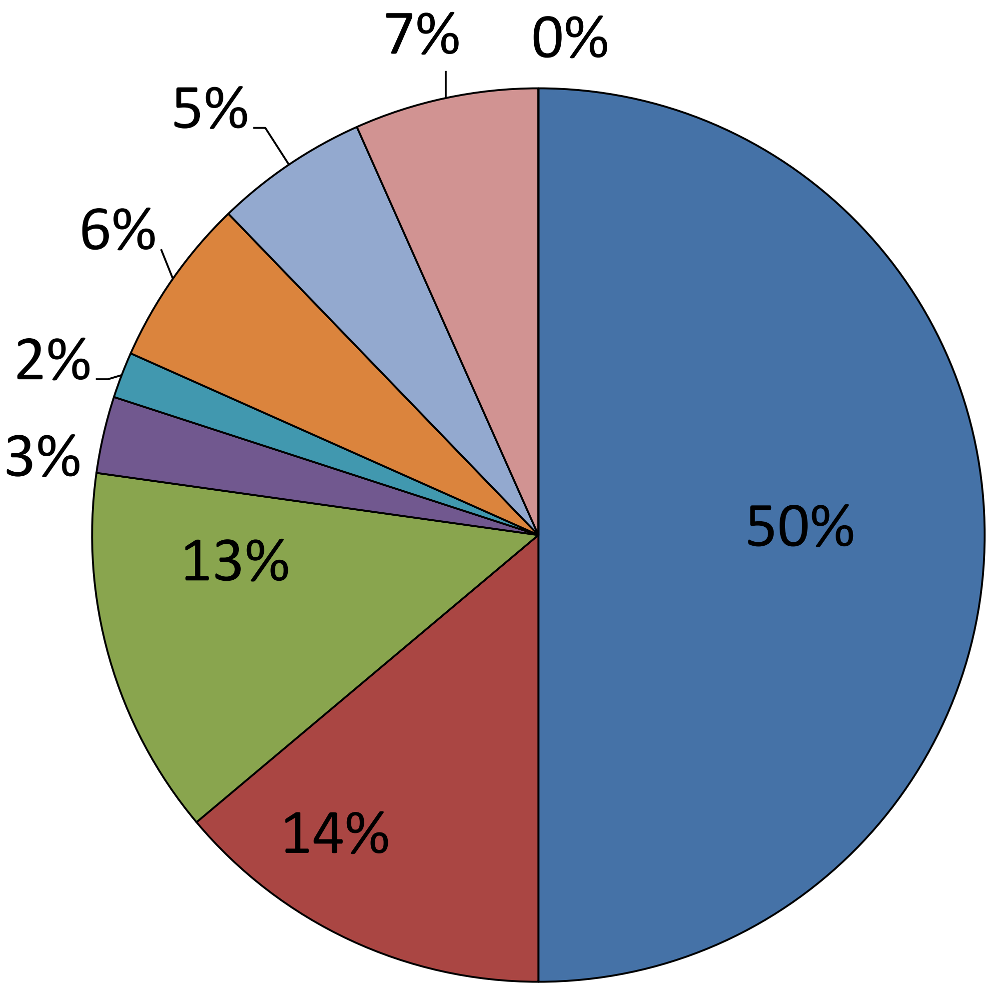
<u>未解消事案の減少へ</u>

いじめの態様（小学校）（複数回答あり）



531
162
250
53
6
46
211
13
0
1272
（件）

いじめの態様（中学校）(複数回答あり)



冷やかしやからかい，悪口や脅し文句，嫌なことを言われる。	90
仲間はずれ，集団による無視をされる。	25
軽くぶつかられたり，遊ぶふりをして叩かれたり，蹴られたりする。	24
ひどくぶつかられたり，叩かれたり，蹴られたりする。	5
金品をたかられる。	3
金品を隠されたり，盗まれたり，壊されたり，捨てられたりする。	11
嫌なことや恥ずかしいこと，危険なことをされたり，させられたりする。	10
パソコンや携帯電話等で，誹謗中傷やいやなことをされる。	12
その他	0
	180

（件）

新型コロナウイルスに関連して

柏市教育員会（児童生徒課）の対応

・メッセージの周知
・相談先の提供
・PCR検査陽性による休校措置を行った学校への支援及び聞き取り
・スクールカウンセラーの派遣

新型コロナウイルスを理由とするいじめ

調査による報告⇒　０件※２学期末調査も注視
聞き取り調査による発覚⇒０件

新型コロナウイルス・いじめ防止メッセージ

文部科学省

児童生徒等や学生の皆さんへ

新型コロナウイルスが広がってから、皆さんは、学校はどうなるのだろう、この先どうなるだろうと、不安だったのではないでしょうか。新しい学期を迎えるに当たって、皆さんに伝えたいことがあります。

まず、感染症にかからないようにするには、いくつかの方法があります。すでに皆さんが取り組んでいるように、話をするときにはマスクをしたり、手を洗ったり、具合が悪い場合には学校を休んだりしてもらうことです。そして何より、健康的な生活を送ることが大切です。それでも、これまでも皆さんは風邪をひいたり、インフルエンザになったりしました。今はさらに新型コロナウイルスが課題になっています。

この三つは、症状がよく似ています。ですから、今後、皆さんの誰もがこうした症状を経験することがあるでしょう。具合が悪い人の中には、新型コロナウイルスに感染したと診断される人も身近な人の中から出るかもしれません。もちろん、それが友達だと分かったら自分は大丈夫かなと不安になることもあるでしょう。

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気ができてしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなっても、その後は言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらに皆さんの地域で感染が広がってしまうかもしれません。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。

すでに、感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことが皆さんの周りでも起きないように、皆さんにも協力してほしいのです。

また、高齢者や病気がちの人は、感染すると症状が重くなってしまう危険があります。自分は元気だから大丈夫ということではなく、そのような人たちに感染させることがないよう、思いやりの気持ちを持ってほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症が広がり、皆さんの日々の生活は一変したと思います。
以前のようには、友達と会いにくくなり、スポーツや文化に触れる機会も少なくなり、将来への不安やストレスを抱えている人も多いでしょう。

これまでも、私たち人間は、新型コロナウイルスのような新しい病気を経験してきました。そのたびに、世界中の研究者が病気の原因を探り、予防方法を見つけたり、薬の開発をしたりしてきました。そうして、私たちは、病気と共存していく。この歴史は繰り返されています。新型コロナウイルスも研究が進んで解明されれば、予防と治療ができるようになり、新たな共存生活が始まります。

私たち大人は、皆さんの応援団として、将来の見通しを持ち、未来の社会の担い手である皆さんが学ぶ機会、遊ぶ機会、交流する機会を最大限作っていきます。それまで、皆さんは今自分ができる予防をしっかり行い、将来の目標を持ち、家庭や学校で日々の学びを続けてほしいと願っています。

令和二年八月
文部科学大臣　萩生田 光一

STOP！コロナ差別

新型コロナウイルスの感染が広がり，全国的に，誤解や偏見による，感染者や医療関係者，その家族やお店などへのいじめや誹謗中傷が増えています。

新型コロナウイルス感染症は，誰でも感染してしまう可能性があります。差別や偏見，いじめ，SNS での心ない書き込みなどは絶対にやめてください。

闘う相手は人ではなくウイルスです。

今こそ，私たち一人ひとりが互いの立場に立ち，思いやりの心を持って，支えあいながら，一丸となってこの難局を乗り越えていきましょう。

○PCR検査による臨時休業措置を行った学校の対応例

- スクールカウンセラーによる児童生徒との面談
- スーパーバイザーより助言を受けた心のケアを意識した学級指導
- 担任と陽性生徒保護者との話し合い（登校時のケア）
- 登校再開初日，校長による校内放送

「風評被害・いじめがないように」

「コロナいじめは許されない」

- 学校ホームページへメッセージ掲載
- 日常から「誰もがかかりうる病気」という意識の定着

令和2年度いじめ防止の取組

・STOPit
・研修
・いじめ防止基本方針の改定
・チーム対応
・いじめ防止月間

We Love Kashiwa

新型コロナウイルス感染拡大防止

↓

休校措置

↓

STOPitアプリの早期提供
（新規に小学校６年生へ拡大）

STOPitアプリ相談状況

令和２年４月１日から10月12日まで

相談件数　86件

中１：５４件　中２：２０件　中３：８件　小６：４件

1. 本人のいじめについて	4(15)
2. 本人以外のいじめについて	3(5)
3. 部活動について	1(0)
4. ネットトラブルについて	1(2)
5. 教員の指導について	16(29)
6. その他の相談について	51(36)
7. 相談以外（挨拶や問い合わせ等）	10(3)
合計（件）	86(90)

(　)は前年度相談件数

※５．教員の指導
　○部活動の暴言
　○授業中の差別等

※６．その他の相談
　○家族間トラブル
　○自分自身の悩み
　　・LGBT
　　・身体
　　・勉強　等

休校による不安の相談　増

「脱いじめ傍観者」「SOSの出し方教育」 → STOPitアプリの紹介

遠隔でつながるオンライン授業

出前授業

STOPitアプリで配信

※２学期開始前に配信

- 柏市の中学生・小学６年生の皆さん，こんにちは。いよいよ２学期がはじまります。
- 今年はいつもより少し短い夏休みとなりました。今どんな気持ちですか？「早く学校へ行って，友達と会いたい！」と楽しみにしている人もいると思います。一方で「２学期の勉強大丈夫かな…」「友達との人間関係に悩んでいる…」「部活動が大変…」「進路や勉強について悩んでいる…」など，不安な気持ちを抱えている人もいると思います。
- 不安を抱えている人は、どうか一人で悩まずに，身近な大人に相談してください。皆さんの周りには、寄り添ってくれる，手を差し伸べてくれる大人がいます。信頼できる大人に相談することが，不安の解消につながるかもしれません。
- また，周囲の人に相談しにくければこのストップイットアプリに連絡してください。私たちは、悩みを抱えている皆さんの力になりたいと考えています。

各学校のいじめの実態把握

＋

「いじめ防止授業」の実施

『個性』や『違い』を認め合う雰囲気
『いじめの定義』について
信頼できる『相談窓口』の紹介

「脱いじめ傍観者」及び「SOSの出し方教育」をテーマにした授業の実施

STOPitアプリをはじめとする
信頼できる相談窓口の周知

いじめ：**生徒指導・教育相談・家庭環境・発達の課題等**、**様々な背景**が複雑に絡み合っている

様々な個性
性格や外見等の
ちがい

発達の課題
LD・ADHD・自閉
スペクトラム症等

いじめ

家庭環境が要因
不安や葛藤，劣等感，欲求不満等

外国にルーツ
言語や文化の
ちがい

多様性を認め、子どもたち一人ひとりを大切にする意識

多様性を認め合う意識

特別支援教育

外国にルーツ

人権教育

家庭環境

LGBT

教職員への研修

○特別支援教育の意識

○家庭環境等、配慮が必要な児童生徒の理解と対応

○「性同一性障がいや性的指向・性自認に係る児童生徒への理解と対応」研修

生徒指導主任連絡協議会研修

民生委員・主任児童委員・SSW
を招き、研修を実施すると共に情報交換会を実施

第１回は民生委員・主任児童委員不参加
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

↓

地域・社会福祉協議会との連携

○家庭環境等、配慮が必要な児童生徒の理解と対応

- 虐待
- 貧困
- 外国にルーツ
- 保護者の精神疾患

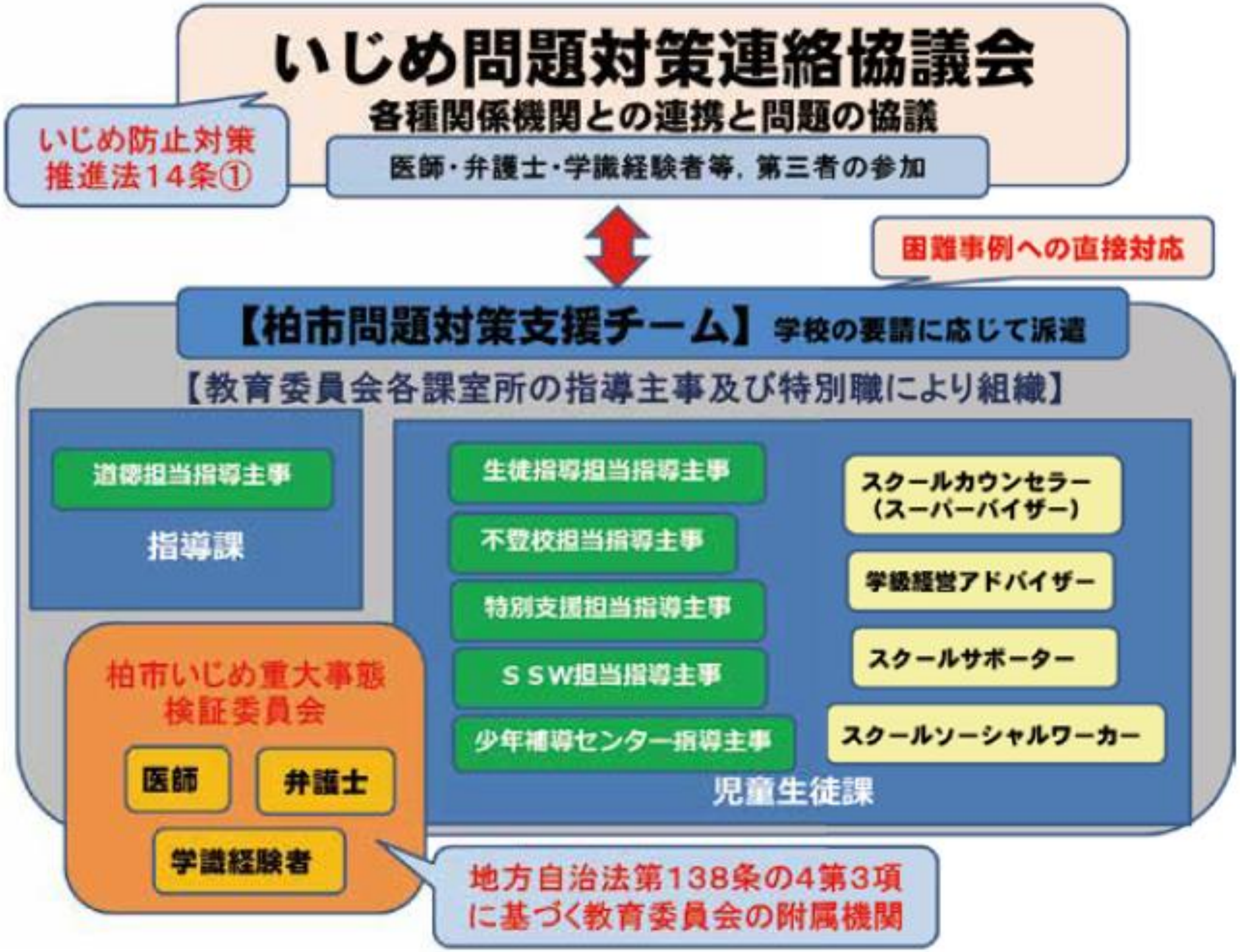
虐待や貧困等，特別な事情を抱えている児童生徒については，不安や葛藤，劣等感，欲求不満等が潜んでおり，そのことがきっかけでいじめの加害者にも被害者にもなりえる。

生徒指導主任とSSW・民生委員との合同研修
⇒いじめの「内容」だけでなく、その「背景」に何があるか見つめる視点

柏市いじめ防止基本方針の改定

- 改定による経緯や願い
- いじめ問題対応の手引き
- 未然防止の取組
- 初期対応の具体例
- 学校いじめ防止基本方針の見直し

チームで対応



いじめ問題対策連絡協議会
各種関係機関との連携と問題の協議
いじめ防止対策推進法14条①
医師・弁護士・学識経験者等，第三者の参加
困難事例への直接対応
【柏市問題対策支援チーム】学校の要請に応じて派遣
【教育委員会各課室所の指導主事及び特別職により組織】
道徳担当指導主事
指導課
生徒指導担当指導主事
不登校担当指導主事
特別支援担当指導主事
ＳＳＷ担当指導主事
少年補導センター指導主事
スクールカウンセラー（スーパーバイザー）
学級経営アドバイザー
スクールサポーター
スクールソーシャルワーカー
児童生徒課
柏市いじめ重大事態検証委員会
医師
弁護士
学識経験者
地方自治法第138条の4第3項に基づく教育委員会の附属機関

【学級経営アドバイザーの配置】

１１名体制⇒小学校３２校・中学校４校

【スクールサポーターの配置】

７名体制⇒小学校６校・中学校６校

【スクールソーシャルワーカーの配置】

１３名体制　３つの学習相談室及び
１３の中学校区に配置

いじめ防止啓発月間について（12月）

児童生徒自らが，主体的にいじめの問題について学び，考え，行動に結び付くような取組をめざす。

○いじめ防止サミットKASHIWA
今年度はオンラインで開催予定

・市内の中学生対象⇒各校代表2名参加

・いじめ防止の取組について話し合い，各校に広めていくことを趣旨とする。

今年度のテーマ（仮）

『事例に基づくいじめ研究』

『ネットいじめ』

・國松弁護士による講義

・事例をもとにオンラインで協議